

ひな祭り

三月三日はひな祭り



3月3日 「ひな祭り」が南部図書館で行われました。

卯田せ、ぐつぐつの余の脚やくじよる市遊び・紙お題等で楽しめ、参加者全員で「雛人形作り」に挑戦しました。娘のし難い人形作りのお父さんお母さんも挑戦しましたが、みんなで協力して行いました。またお供達が人形の表情を、思い思いに書を込み、図書館に飾られた立派な雛壇に負けない、可愛らしげ雛人形が完成しました。参加者は楽しめ、とても満足でのひな祭りでした。



平安時代から日本では五つの節句があり、季節の節句は身の力がれを祓う大切な行事となっていました。

人日 (じんじつ)

1月7日 「七草がめ」

端午 (たんぐ)

5月5日 「鯉のぼり」

七夕 (たなばた)

7月7日 「七夕祭り」

重陽 (ちやうよう)

9月9日 「秋の節句」
(「菊の節句」は現在あつまわせ)

上巳(じょうし)

三月三日「桃の節句」

上巳の節句が桃の節句に変わり桃の節句は、毎年の薬草で身体の力がれを祓って健康と厄除けを願った行事で、それが紙の着せ替え人形で遊ぶ「わらな

遊び」へとやがて、田舎の災厄を代わる山元を駆逐するかた雛人形を川に流す「流し雛」へと発展しました。また、室町時代には、豪華なお雛様を飾つてお祝いするようになり、現在、子供の健やかな成長を願う行事（ひな祭り）として行われるものとなりました。

